

2016年10月17日

福井県
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

福井県と損害保険ジャパン日本興亜株式会社が 「ブランド発信および観光PRに関する包括連携協定」を締結

福井県（知事：西川 一誠）と損害保険ジャパン日本興亜株式会社（本社：東京都新宿区・取締役社長 西澤 敬二 以下、「損保ジャパン日本興亜」）は、福井県のブランド発信と観光PRを目的として「包括連携協定」を締結しましたのでお知らせします。

記

1. 背景

福井県は、「越前がに」や「コシヒカリ」に代表される魅力ある食、恐竜の化石・標本を展示する世界有数規模の「恐竜博物館」、国の名勝・天然記念物に指定されている「東尋坊」、開山770年を超える「大本山永平寺」、「一乗谷朝倉氏遺跡」といった名所など、魅力あふれる資源を有し、これらのブランドを活かした誘客プロモーションを展開してきました。

損保ジャパン日本興亜は、全国に拠点を有する損害保険会社として、企業の社会的責任を果たし、地方創生に積極的に参画していくという観点から、地方創生への貢献に取り組んでいます。

なお、損保ジャパン日本興亜の前身「日本海上保険（1896年創業）」の創業者は、現在の南越前町にある北前船船主・右近家の10代目当主であるなど、福井県とゆかりの深い企業です。

このたび、福井県と損保ジャパン日本興亜は、「ブランド発信および観光PRに関する包括連携協定」を締結し、それぞれが有する人的・物的資源を有効活用することで、今後行われる、福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会や北陸新幹線の敦賀開業に向け、さらなる県の観光PRや観光客のおもてなしに官民をあげて取り組んでまいります。

2. 「ブランド発信および観光PRに関する包括連携協定」による主な取り組み

(1) 福井県の観光情報やブランドの発信

県内外のレンタカー会社、ホテル、旅行代理店、自動車販売店、タクシー会社等に県の観光マップやイベントチラシを配架します。また、保険案内のリーフレットや啓発チラシに観光や食の情報を掲載し観光誘客促進を図ります。

その他、損保ジャパン日本興亜公式ウェブサイトへの県の観光案内ホームページのリンク掲載や公式 Facebook での県のイベント情報発信、福井支店職員および県内代理店の職員の名刺への福井県公式キャラクター「Juratic」掲載等により福井ブランドを発信します。



(2) 県民を対象としたセミナーの開催

クレーム対応等のリスク管理や、ハラル対応等の訪日外国人に対するセミナーを定期的に開催します。また、2018年の幕末明治150年に向けたセミナー等県民を対象としたセミナーを開催します。

(3) 観光地等での環境美化活動の実施

観光地の環境美化活動を福井支店職員、県内代理店の職員と一体となり実施します。また、2018年の福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会開催に向け、県が推進する花いっぱい運動に積極的に参画します。

(4) 文化芸術の相互交流による振興

東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館が所蔵する作品と県が所蔵する作品を相互に貸し出すことにより、県の文化芸術の振興や、県の文化芸術の県外へのPRに協力します。

(5) 福井ブランドのPR、販売促進

損保ジャパン日本興亜本社（東京都新宿区）において、福井県ゆかりのメニューの提供や物産を行う福井フェアを継続して開催します。

今年は10月25日（火）、26日（水）に開催し醤油ヒレカツ丼や福井梅を使用した豚の梅生姜焼き、打豆ひじきを提供するほか、福井の地酒や焼き鯖寿司などを販売します（本メニューは西東京市にある事務本部ビルでも同日に提供します）。

また、損保ジャパン日本興亜の社内イントラネットで約2.6万人の社員向けに福井県産品の情報や観光情報等を掲載します。



昨年度の福井フェアの様子（2016年1月20日（水）、損保ジャパン日本興亜本社）

以上